



2024能登半島地震について — 金沢からの報告

日本基督教団 金沢元町教会 牧師 大澤 正芳 (J T J 卒業生)

2024年1月1日に能登半島を襲った地震は、教会にも大きな被害を与えた。私の属する日本基督教団中部教区石川地区では、輪島教会の被害が大きい。朝市通り近くにある会堂は、ほぼ全壊、牧師館も隣家が倒れかかり、調査の結果、危険を示す赤紙が貼られた。

新藤豪牧師と教会員は、当初は近くの避難所に避難していたが、1月29日現在、順次、金沢の親戚宅や、次の避難先に移動している。牧師は今も輪島で避難所生活を続けているが、プライバシーが確保できず十分な休息を取れないからと、電気も通っていない牧師館に戻る日も多い。被災後迎えた最初の主日は、被害の少なかった牧師館の一室を使って礼拝することを願ったが、上記のような状況のため、避難所で短い礼拝の時を持ったと聞いている。

様々な支援窓口が開設されている。私が把握している教会を背景とした窓口は三つ、①日本基督教団中部教区の「能登半島地震募金」窓口、②福音派の教会を中心とした「能登地震キリスト災害支援会」、通称「能登ヘルプ」の窓口、③北陸地方唯一のミッションスクールである北陸学院といくつかの諸団体が協力する「北陸学院キリスト教センター」の窓口である。支援窓口は、教派を越えて一元化した方が効率的にも思われるが、各団体が重荷を持つ働き、リーチできる場所は異なるので、情報共有しつつ、

主に託された使命をそれぞれ果たしていくことが今はふさわしいのだろう。各団体、ホームページ等を通して、献金、献品のお願いや活動報告を挙げている。是非、ご覧頂き、ご協力頂きたい。

私は、被害の少なかった金沢市在住だが、震災後の一週間、全国から、ご心配の電話やメールを頂いた。祈られている喜びを噛みしめ、また旧交を温める機会となったが、たまたま流行感冒に罹っていた身としては、教会員の安否確認作業の合間のメール対応、電話対応にほんの少ししんどい思いもした。被災地、被災教会に直結した顔の見える支援を望む方も多いだろうが、被災者自身が支援受け入れを捌くには限界がある。被災教会、被災牧師には、今こそ、御言葉と礼拝に集中して頂けるよう連絡窓口はなるべく絞った方が良いだろう。しかし、連絡を控える余り、孤独にしまわれないかということも気にかかる。主が私たちに想像力と知恵を与えてくださるよう祈る。

教会員にも家を失った方の関係者、亡くなられた方の関係者が少なからずいる。大きな自然災害が起こる時、神様はどこにいらっしゃるのかという切実な問いが湧き上がる。被災者から発せられる時、それは決して不敬な問いではなく、呻くような祈りであることは論を俟たない。しかし、そのような神義論的問いが心に浮かぶ時、私は被災地で礼拝を続ける現実の教会の姿に突き当たる。生けるキリストの体なる現実の教会が、今もそこで祈っている。能登の方々と共に傷む現実教会の姿に、今、この時こそ深く深く能登の地に現臨してくださる主を思う。



トピックス Topics

●2023年度卒業・修了式のご案内
日時：3月20日(水・祝) 14:00～16:00
会場：上野の森キリスト教会 (J T Jと同じ建物内) 東京都台東区東上野5-11-9

●入学式のご案内
日時：4月6日(土) 13:00～14:30
会場：J T J教室
*2023年5月～2024年4月までに入学(入学予定)の方でしたら、どなたでもご参加いただけます。

●J T Jホームカミングデーのお知らせ
日時：3月19日(火)～3月20日(水・祝)
会場：日光オリーブの里
*詳しくは、J T Jホームページをご覧ください。
お申込・問合せ：E-mail: jtjclub2021@gmail.com

●「マナカフェ」(通信学習生対象)のお知らせ
～学友(マナトモ)と学びの進捗や感想を分かち合う/共に祈り励まし合う～
4/27(土) 13:30～15:00 J T J教室にて。
今回は島田哲也先生(J T J講師)を迎えての対話集会です。教室での対面かZoomでの参加が選べます。参加申込はJ T Jホームページの「学生/卒業生ページ」から。

●新約聖書講解シリーズ「ヘブル人への手紙」のご案内
「第五福音書」と言われるほどに、イエス様お一人を【メルキゼデクに等しい永遠の大祭司】として展開する本書。試練に苦しむ私たちに、激励を与えてくれる数々の名言、名句がある。
B5判508頁/3,520円(税込)
*ご注文方法は、同封のチラシまたはJ T Jホームページをご覧ください。

お問合せ・各申込先
J T J 宣教神学校
TEL.03-3842-3412
E-mail: jtj@jesustojapan.com



ニュージーランドで「出前礼拝」です
2000年度 牧師志願科卒業 小平 渉
watarukodaira724@gmail.com
「わたしは、あなたがたのことを思い起こす度に、わたしの神に感謝し、あなたがた一同のために祈る度に、いつも喜びをもって祈っています。それは、あなたがたが最初の日から今日まで、福音にあずかっているからです。あなたがたの中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています。」
(ピリピ 1:3～6)

最近息子家族は自営業を一時休止し、大学でスキルアップを目指すためニュージーランドのハミルトンに滞在する様になりました。その息子家族のところに、正月明けの2週間ばかり「礼拝の出前」に行きました。一時もじっとしていない幼子連れの上、行っただけで右も左もわからない家族です。一日も早く、クリスマスチャンの方々に出会い小さなグループでの礼拝が始まることを祈っています。



★J T J 宣教神学校ホームページ
https://jesustojapan.com
スクリーニング、公開講座等の申し込みがこちらからできます。学生・卒業生用ページを設けています。

★LINE 公式アカウント
公開講座、Zoomセミナーなどの案内をお伝えしていきます。どなたでも登録できます。

★LINE 公式アカウント (学生専用)
講義日程の変更やスクリーニングなどの案内をお伝えしていきます。

★J T J YouTube チャンネル

★Instagram

★学校公認 X (旧 Twitter) 「小さな神学生」

★学校公認 TikTok
「聖書・キリスト教のここが聞きたい!」

★J T J YouTube の姉妹チャンネル
「ひとつぶのむぎ」



Number 152
Mar. 2024

キリストにある「子ども」として生きる幸い 学長 重田 稔仁

「イエスに触れていただくために、人々が子供たちを連れて来た。弟子たちはこの人々を叱った。しかし、イエスはこれを見て憤り、弟子たちに言われた。『子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。はっきり言っておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。』そして、子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された。」(マルコによる福音書 10 章 13 節～16 節)

イエスさまは、誰でも子どものようにならなければ神の国に入ることはできないとおっしゃいました。

〈子どもとは、どのような存在か〉
子どもとは、自分の能力や知恵で人生を切り盛りできない、まだ頼りない存在です。私は子どもになりたくて聖書を学び、神学する人を見たことがありません。多くのキリストチャンが、子どもであるより有能で他者から頼りがいのある人になりたくて聖書学校で学びたがるのではないのでしょうか。実は私もかつてそうでした。しかしイエスさまは、誰でも子どものようにならなければ、神の国に入ることは出来ないとおっしゃいました。

〈どうしたら、私たちは神の国に生きる子どものような存在になれるのか〉
それは神さまの知恵と導きによります。神さまは、人が自らの知恵や力、経験値が通用しない場所に私たちを置くことによって、私たちをキリストにある子どものような存在

に造り代えてくださいます。
昨年の11月初旬、初めて台湾を旅行しました。2週間の旅行中、朝起きてから寝るまで友人のJさんの指示に従って行動しました。現地語がわからなかったからという訳ではありません。全くプランがなかったからです。言われるがままJさんの後をつけて回った13日間の旅は、私に自分が子どものように力や知恵のない存在で他者に頼ること無しに生きてはいけない存在であることを思い知らせてくれました。私の台湾旅行は、苦痛でストレスフルな毎日だったのでしょうか。とんでもありません。それは、成人して以来初めて、自分以外の他者を心から信頼し、その導きに従うことの素晴らしさを味わった幸いな日々でした。またそれは、普段、何ごとも自分で決めて実行する私にとって革命的なことでした。出エジプト後のイスラエル人が荒野を旅したように、神さまは私が神さまを信頼せざるを得ない環境に置いて訓練なさったのです。

もし私たちがお先真っ暗、自分の知恵や力、過去の経験値が全く通用しない環境、状況に置かれたら、それは私たちが「子どものようなもの」に造り変えられるチャンスです。
それはキリストの恵みによって私たちが神の慈しみを信頼して神の知恵と導きに従うものにさせていただける神さまからの聖なるインビテーションです。J T J 宣教神学校は神さまを信頼し、神さまと共に生きるキリストにある子どもを育む学舎です。お互い、この一事を忘れずにいつも謙遜に主の知恵に生きる術を学ばせていただきたいものです。

